

IMO第52回航行安全小委員会(NAV52)での審議結果の概要について

平成18年7月17日から21日までロンドンの国際海事機関(IMO)本部において開催されました。今次会合における主な審議結果の概要は以下のとおりです。

1. e-navigationの戦略

(1) 背景

第81回海上安全委員会(MSC81:本年5月開催)において、最新の技術を活用し航海の効率及び安全性を向上させるe-navigation戦略の検討を我が国、英国他5カ国が共同提案し、優先度の高い作業項目として採択されていた。

本件に関連して本年度より(財)日本船舶技術研究協会において「航海支援に係る基準に関する調査研究」を開始しており、当該研究において検討を進めている以下の点について、問題解決に寄与するものであるとして今次NAVに文章にて提案した。

- ・ 小型船舶に関連する事故防止対策
- ・ 認識・識別機能又は航行判断機能の向上に資するブリッジ情報の高度化
- ・ 海上ブロードバンドによる陸上支援機能の高度化

(2) 審議結果

e-navigationの戦略検討にあたっては、日本、英国他がMSCに提出した文書、本小委員会に日本が提案した文書等を考慮し、コレスポンス・グループを設置し、以下について検討を進めることとなった。

- ・ e-Navigationの定義及び範囲、主要事項及び優先順位の特定
- ・ 便益と障害の特定
- ・ 将来作業におけるIMO、関係国及びその他の関係者の役割の特定
- ・ 作業計画の策定

2. ECDIS(電子海図情報表示装置: Electronic Chart Display and Information System)

(1) ECDISの搭載義務化

第81回海上安全委員会(MSC81:本年5月開催)にデンマーク、ノルウェーが「ECDISの搭載は費用対効果の面でも有益」とする内容の文書を提出し強制化を提唱していた。我が国はENC(航海用電子海図: Electronic Navigational Charts)の現状の整備状況を考慮したFSAを行い、「ENCが十分整備されていない航路にあっては費用対効果が現れない場合もあるため、ECDISの搭載義務の時期とENCの整備の時期とを整合させるべき」とする内容の文書を今次NAVに提案したところ、ICS、韓国、南アフリカ、イタリア、パナマ、ペルー、ギリシャ、チリ、シンガポール、ウルグアイ、ベネズエラ等多数の国・機関の支持を集めた。上記を踏まえ、本件は次回会合において更に検討が進められることとなった。

(2) ECDISの性能基準の改正

現行性能基準の既知の欠落点の織り込みと表現が不正確な部分を修正するなどの整理修正を主内容としたECDISの性能基準の改正案が策定された。本案は、MSC82(本年11月開催)で採択を求める予定。

3．航海灯、航海灯制御器及び関連装置の性能基準

デンマーク、ノルウェーが性能規準案を提案し、我が国は、LEDを使用した航海灯に関する調査研究を行った報告文書を紹介し、従来型の航海灯とLEDを使用した航海灯の特徴の違いや、LEDの出力低下を監視する適当な機器が存在しないこと等を指摘した。これらを踏まえ、次回会合で引き続き審議を行うこととなった。

4．IACSの統一解釈

以下のIACSのCOLREG条約及びSOLAS条約附属書第 章の統一解釈が承認され、同内容のMSCサーキュラー案が策定された。

- COLREG条約第23規則(a)の解釈としてマスト灯、舷灯及び船尾灯は二重化されたものでなければならないこと。
- SOLAS条約附属書第 章2.2.1規則の解釈として、磁気コンパスの予備としてジャイロコンパスを搭載する場合には、1) 第 章2.5.1規則に基づき備え付けたジャイロコンパスではなく、かつ、2) 主電源及び非常電源の他にバッテリー等の電源を備えること。

これらの案はMSC82で承認される予定。なお、我が国は、航海灯の二重化を小型船舶へ適用することは困難であることを指摘したところ、IACSより、COLREG条約第23規則(a)の解釈は12m以下の小型船舶へは適用されないことが確認された。

5．その他の主な議題

(1) 灯火の色度に関するCOLREG条約附属書Iの改正

COLREG条約附属書Iに定める航海灯の色に関する規定を、CIE(国際照明委員会)の基準と整合するよう改正すべきとする提案がノルウェーよりあったところ、我が国は現存船に適用すべきではないことを主張した他、多くの国がFSAを実施すべきとの意見が述べられ、次回以降検討が進められることとなった。

(2) 船用レーダー設備の設置に関するガイドライン

ノルウェーからガイドラインの素案を提案が行われ、造船所における設計や建造等を考慮すべきなどの意見が述べられ、次回以降検討が進められることとなった。

(3) 船用ガリレオ受信機の性能基準

コレスポンデンス・グループ(CG)で検討が進められてきた船用ガリレオ受信機の性能基準案が承認された。本案は、MSC82において承認を求める予定。

(4) 先進安全航行支援システム(INT-NAV)に関する評価結果の報告

船舶の衝突防止に係る操船者の負担軽減と判断支援のため、現在我が国において、開発を進めている先進安全航行支援システム(INT-NAV)について、その基本機能の紹介とその有効性の評価結果を示した報告文書を本小委員会に我が国から提出し、本会議において詳細内容を説明した。また、本小委員会開催中、先進安全航行支援システム(INT-NAV)のシミュレータ体験デモンストレーションを実施し、操船実務者、訓練機関関係者及び航海機器メーカーから延べ約100名の見学者を得た。この間、活発な質問及び意見交換が行われ、多くの肯定的な意見、建設的な助言を得た。また、数カ国からこれまでの我が国の取組を通じた協力の依頼と共同作業の提案があった。

以上